

LIVOS テクニカルデータシート

アリス デッキ着色オイル No.579 告示対象外

ウッドデッキ、外構、木製サッシの初期塗装に。

適用範囲 チーク、ラーチ、米松、シーダー等の外装、ハードウッドを使用するウッドデッキ材に使用する。
ウッドデッキ、木部外壁・外構、木製サッシの初期塗装に適している。

製品特性 木部に深く浸透し、撥水性と耐紫外線につよく、通気性を保つ。
汗・唾液に対する色彩堅牢性についてのドイツ工業規格 (DIN 53 160) に適合。
幼児用木材玩具としての安全規格 (DIN EN 71 Part3) に適合。

全成分 カラーにより異なる：
イソアリファーテ、アマニスタンドオイル天然樹脂エステル、ウッドオイル、マイクロワックス、鉱物顔料、
二酸化チタン、アマニオイル、珪酸、オレンジオイル、乾燥アミノ糖、ヒマシ油スタンドオイル、アマニウッ
ドスタンドオイル、アマニスタンドオイル、パインオイル、大豆レシチン、チョーク、カオリン、無鉛乾燥剤
(Ca, Co, Mn, Zr)

カラー 064 ダークウォルナット 068 ライトチーク 069 タバック 072 オーク 748 スレートグレー
212 ライトグレー
※樹種、表面の状態により仕上がりは大きく変わります。一般に粗目の表面の場合は濃い色に仕上がります。

施工法 コテ刷毛、刷毛またはローラーで2~3回塗り (詳しくは別途使用説明を参照)

塗布面積 リブ入りの木材の場合 : 1回目 約7 m²/L 2回目 35 m²/L (無希釈)
プレナー仕上げの木材の場合 : 1回目 20~25 m²/L 2回目 40~50 m²/L (無希釈)
※ 木の表面の状態や樹種により塗布量は増減します。必ず試し塗りをする。

乾燥時間 気温 23℃ 湿度 50%において5~8時間。2回目と3日回目の間は18時間程度乾燥させる。

比重 およそ0.87 g/ml

安全上の注意 火気のあるところでの塗装はおやめ下さい。(消防法：危険物第4類 第2石油類)
使用時は喫煙を避け、換気してください。
塗料を浸したウエスやスポンジは、製品中に含まれる亜麻仁油のために自然発火する危険があるので、金属性の密閉容器に入れるか、水に浸した状態で保管する。(亜麻仁油を含んだウエス等が光や酸素を急激に吸収して酸化作用が促進され、発火する危険がある。製品自体が自然発火することはない。)

安全上のアドバイス P102 子供の手の届かない所に保管してください。
P301+P310 飲み込んだ場合：口をすすぎ、無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察を受ける
EUH066 繰り返し暴露すると、皮膚乾燥またはひび割れを引き起こす可能性。
EUH208 リモネン (オレンジ油)、コバルト (2+) 塩が含まれ、アレルギー反応を引き起こすことがある。

廃棄 地域の規制に従って廃棄してください。

容量 0.05L/0.75L/2.5L

保管 冷暗所に保管する。
保管期間：未開封で製造後4年 (容器蓋部分に表記)、未使用の塗料は小さな密閉容器に移し、あまり空気に触れないように保管する。

LIVOS 使用説明書

アリス デッキ着色オイル No.579

- 準 備 塗装する面の汚れやほこりを除去し、吸収性が良い状態にしておく。木のカビ、苔等があればグローロス No. 1806 で完全に除去しておく。屋外のテラス木部などは、防水シートなどで夜露を避けるか、または完全に乾燥するまで待ってから塗装すること。
- 使 用 方 法 塗料の表面に形成された膜があれば取り除き、十分に攪拌する。塗料と下地の密着を確認する。(部分的な不適合や湿気を帯びた部分のはじきなど) 外気温が 10 度以上で湿度が低く、天候の良い日を選ぶ。木の木目に沿って刷毛またはローラーで塗装します。塗装作業は 4 週間以内に終了する。
- テ ラ ス の 場 合 1 回目の塗装は、塗料が木の表面に残る程度たっぷり塗る。気温に応じて、5~10 分後に表面の余分な塗料を刷毛で塗り広げる。
2 回目の塗装は少なめに塗り、5~10 分後に塗り広げる。
- 木 製 窓 の 場 合 下地を #80 と #120 のサンドペーパーで研磨する。1 回目の塗装は刷毛または短毛ローラーで、木の木目に沿って塗り、気温に応じて 5~10 分後に表面の余分な塗料を刷毛で塗り広げる。乾燥後、#240 サンドペーパーで研磨する。2 回目と 3 回目の塗装は少なめに塗布する。塗料の吸い込み状態を確認し、まだ塗料が十分に浸透していないようであれば、5~10 分後に刷毛で塗り広げる。窓枠の継ぎ目は塗装後すぐに布で拭き取る。シリコンコーティングを行う場合は、塗料が完全に乾燥した後に行う。
- 外 構 の 場 合 1 回目の塗装は、塗料が木の表面に残る程度たっぷり塗る。気温に応じて、5~20 分後に表面の余分な塗料を刷毛で塗り広げる。2 回目と 3 回目の塗装は「木製窓の場合」と同様。
- ク リ ー ニ ン グ 1 年に 1 度はグローロス No. 1806 で木の表面をクリーニングする。
- メ ン テ ナ ンス 塗装の表面に艶が無くなった場合、アリス No. 579 で再塗装する。
- 注 意 事 項 木が非常に乾燥している場合、屋外の厳しい環境にも耐えるようしっかりと塗装する。バンキライ、チークはゆっくり湿気を放出し乾燥していきます。アリスは、おもちゃの塗装にも使用可能です。最終塗装工程は塗布量を特に少なくする。
下地処理の不十分な材は、汚れや油、油脂などにより塗料の密着性が悪くなる場合があります。
塗装中に塗装面の泡状または、塗料が上手く乗らない場合は、下地処理または平滑すぎるサンディングが原因で塗料の密着が悪くなっている可能性があります。粗目のサンドペーパーで表面を粗く研磨することで対策できます。